

新庁舎建設基本設計(案)に関する 市民説明会

平成29年2月19日 25日

深谷市

「安全・安心な防災拠点 シンプルで機能的な庁舎」を目指して

4階建低層の地震に強いシンプルな形状

「レンガのまち深谷」をアピールするレンガ外壁

西側に市民広場とメインエントランス

市民の憩い語らいの場（仮称）深谷コリドー

豊かな日射を最大限活かした大規模な太陽光パネル



国道17号から望む新庁舎イメージ

2

市民サービスの向上 を目指した庁舎

- ・主に市民が利用する窓口部門を1階に集約配置し、市民の利便性を高め、効率的な市民サービスの提供を図ります。
- ・カウンター周辺及び待合い空間に適切な距離を取り、プライバシーの保護に配慮します。

1

市民にとって 安全・安心な庁舎

- ・免震構造を採用し、防災中核拠点としての建物の安全性、業務継続性を確保します。
- ・低層とすることで、重心を低く、堅牢な庁舎とし、災害時の避難動線にも配慮します。

3

人にやさしく、 市民に開かれた庁舎

- ・新たに整備される新駅通り線を考慮し、敷地西側に、市民広場とメインエントランスを計画します。
- ・1階メインエントランス付近に多目的ホールを設置し、また3階西側に、4階議場との一体感のある吹抜け空間を設けることで、市民が気軽に立ち寄り、利用しやすい庁舎とします。

4

自然環境にやさしい庁舎

- ・深谷市の自然環境と庁舎の形状を活かし、環境負荷低減を図ります。
- ・レンガの特性を活かしたレンガウォールを外壁に使用することで、日差しをさえぎり自然通風を取り入れるなど熱負荷を低減し、環境に配慮した庁舎とします。

5

シンプルで機能性と 経済性に優れた庁舎

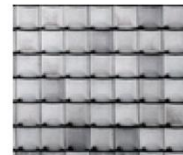
- ・低層かつシンプルでバランスの良い整形とすることで、維持管理のしやすい庁舎とします。
- ・執務スペースは、各部署間に壁や仕切り等を設けないオープンな空間とし、行政需要の変化に伴う組織改正等に柔軟に対応可能なレイアウトとします。

『市民に親しまれ、魅力あるまち「ふかや」を発信し、まちづくりの活性化につながる深谷らしい新庁舎』

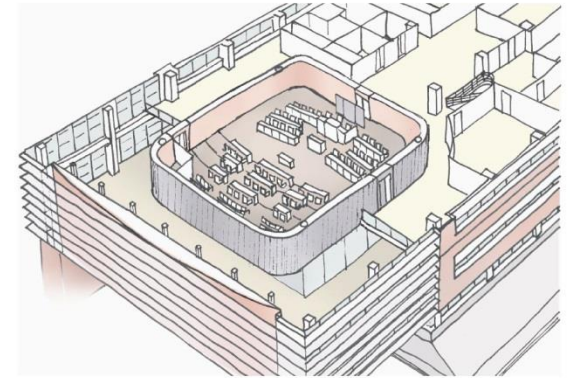
■ 深谷の「人・歴史・まち」と調和する庁舎



■ 「深谷のシンボル」となる議場

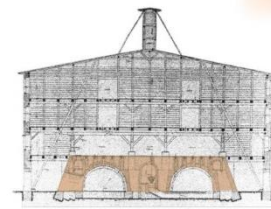


レンガや瓦材を使った壁面のイメージ



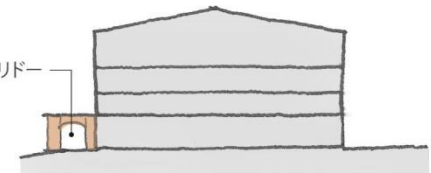
■ 「深谷らしさ」を生み出し、調和する景観

屋根やレンガの趣を継承



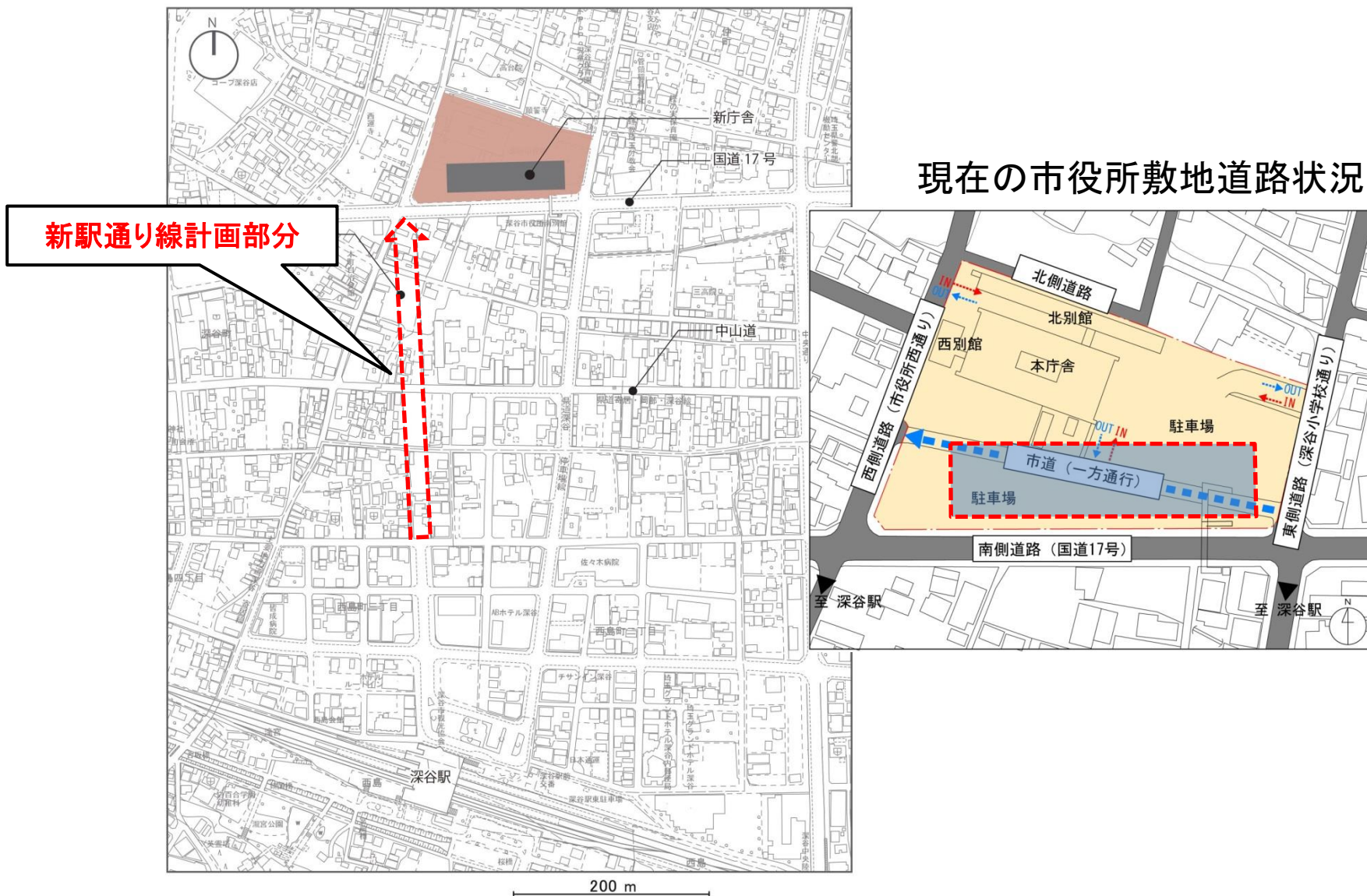
日本煉瓦製造株式会社
『ホフマン輪窯』

出典：日本煉瓦100年史 [日本煉瓦製造(株)]



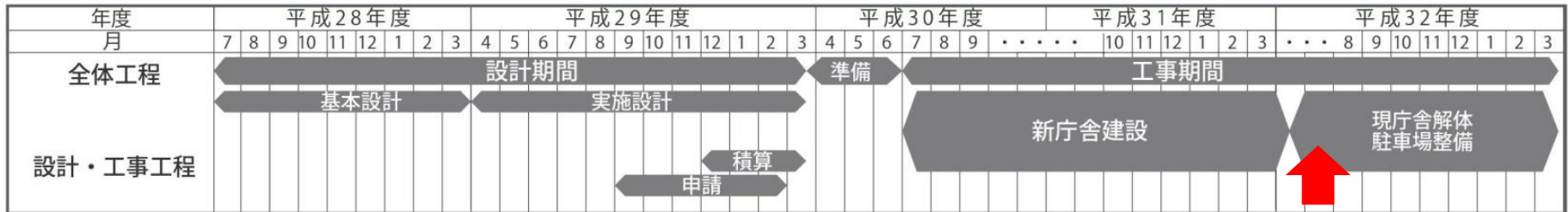
新庁舎
景観資源(レンガと屋根の継承)

現在の市役所敷地道路状況



事業スケジュール・計画概要

■事業スケジュール



新庁舎供用開始予定H32. 5

■計画概要

■敷地概要

計画地	深谷市仲町11番1号	用途地域	商業地域
敷地面積	約14,000㎡	駐車場	180台

基本計画から約600㎡
圧縮しコンパクト化！

■建築概要 [新庁舎]

建築面積	約5,000㎡	延べ面積	約13,400㎡
階数	地上4階	構造種別	免震構造 RC造(一部S造、SRC造)

■建築概要 [付帯倉庫・車庫]

建築面積	約300㎡	延べ面積	約500㎡
階数	地上2階	構造種別	耐震構造 S造

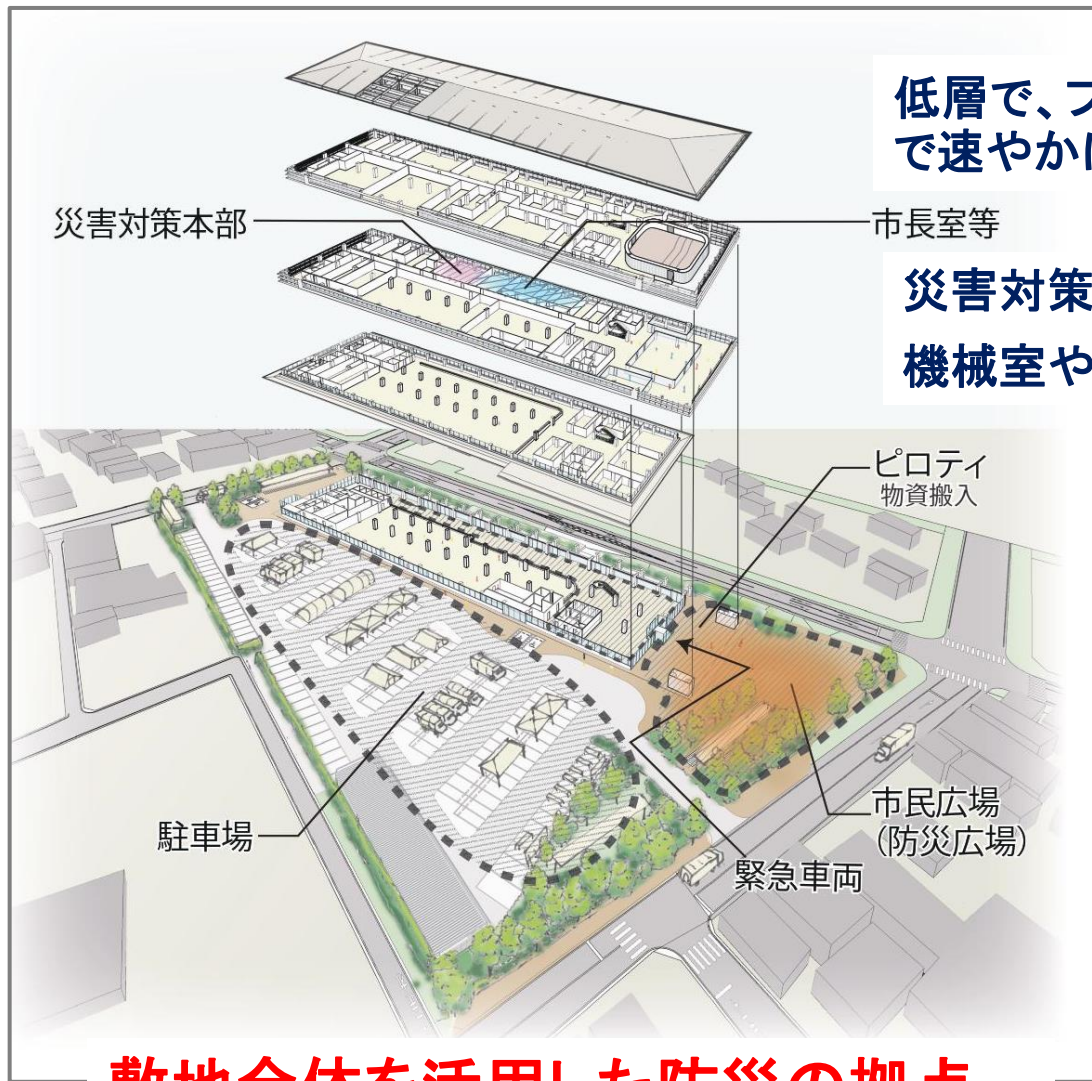
基本設計概算事業費

区 分	基本計画	基本設計	差引
建築本体工事費	65.5億円	64.5億円	▲1.0億円
外構工事費	5.9億円	3.2億円	▲2.7億円
付帯施設	1.0億円	1.0億円	—
設計・工事監理費	2.9億円	2.5億円	▲0.4億円
小 計	75.3億円	71.2億円	▲4.1億円
消費税相当額	7.5億円	7.1億円	▲0.4億円
合 計	82.8億円	78.3億円	▲4.5億円

1 市民にとって安全・安心な庁舎

防災中樞拠点

■ 防災中樞拠点としての機能に優れた 低層型庁舎

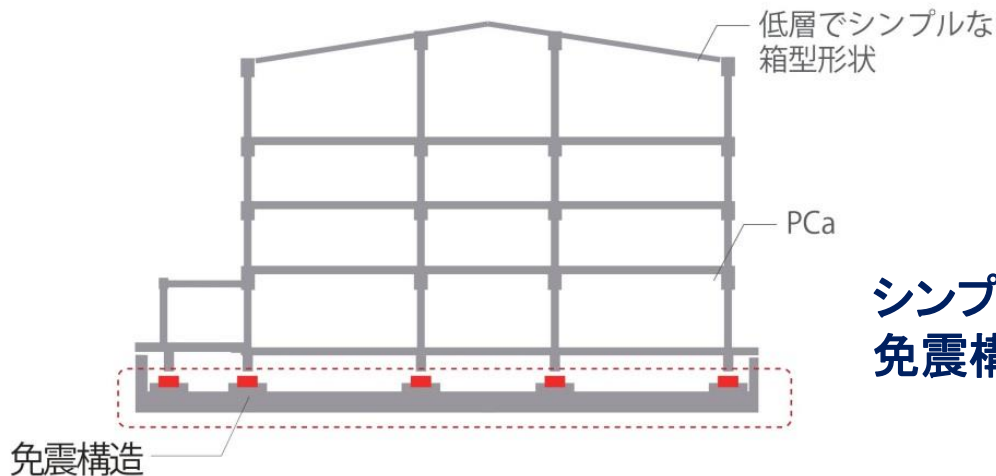


低層で、フロア全体の見通しがよく、階段で速やかに避難が行える

災害対策本部を市長室に隣接配置
機械室や発電機室は最上階に配置

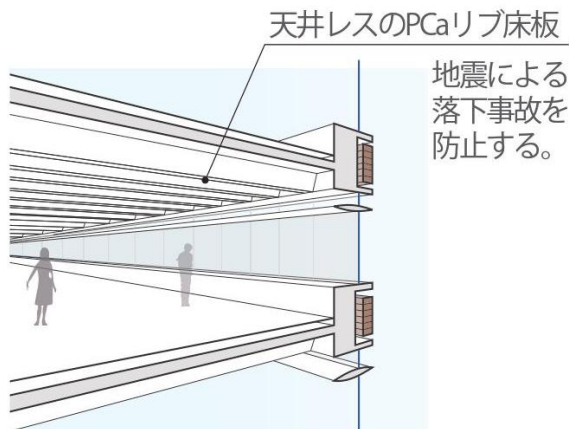
敷地全体を活用した防災の拠点

■ 安全性と経済性に優れた構造計画



シンプルでバランスの良い形状で
免震構造を採用

■ 非常時に高い機能を維持し業務継続(BCP)できる庁舎



地震による落下事故から、機器や人的
被害を防止し庁舎機能を維持

2 市民サービスの向上を目指した庁舎

■ 分かりやすく、市民が気軽に利用できる窓口空間

市民が多く利用する窓口部門を1階に集約



わかりやすい位置に総合案内を配置

総合案内



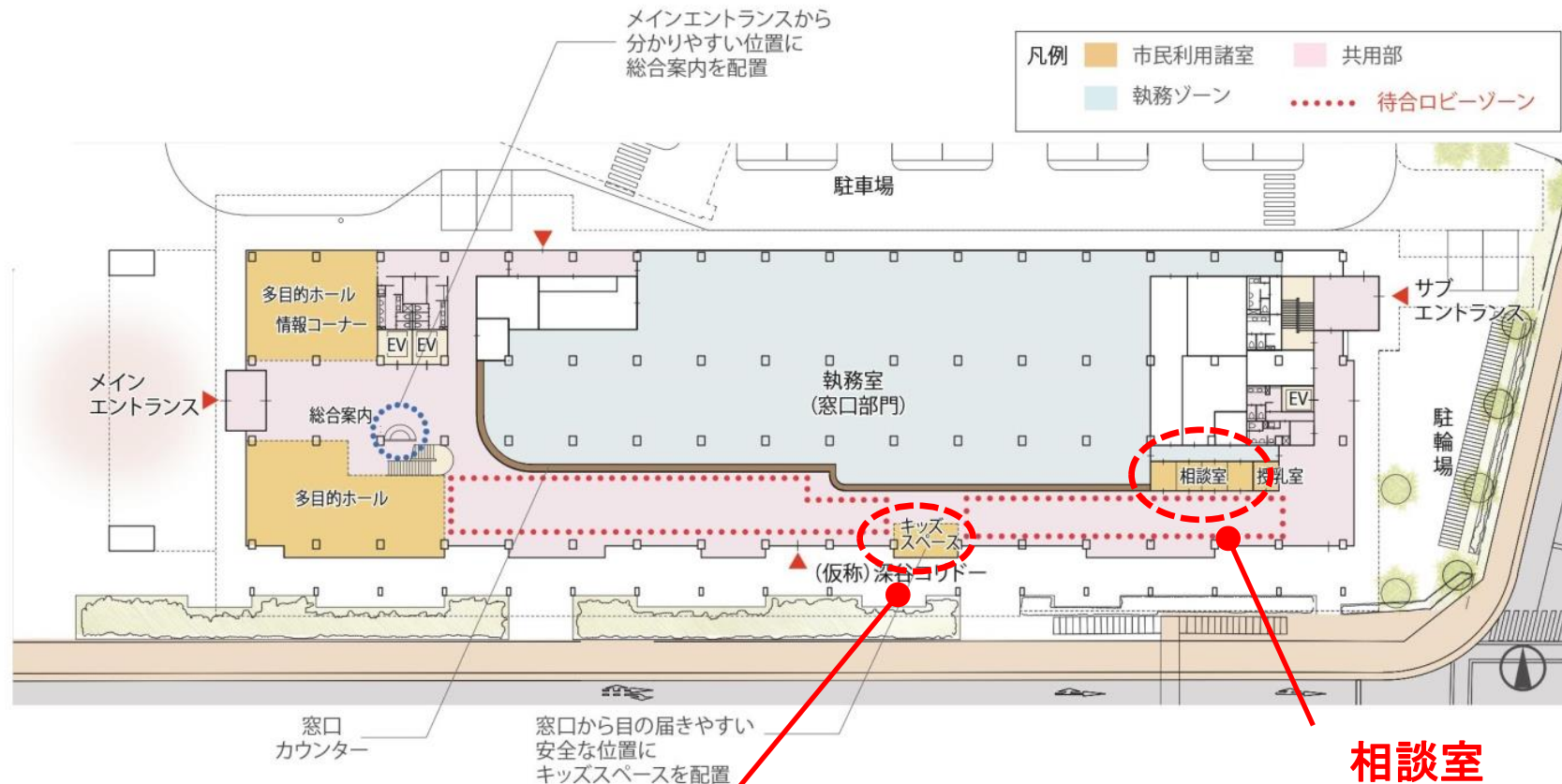
2 市民サービスの向上を目指した庁舎

窓口機能

■ 様々な市民サービスに対応する個室配置

プライバシーに配慮した相談室

目の届きやすい位置にあるキッズスペース



キッズスペース

3 人にやさしく、市民に開かれた庁舎

配置・動線計画

■市民が安心して利用できる配置計画

国道から約10m後退し、騒音、振動に配慮
西側にメインエントランスと市民広場を配置
東側にサブエントランスとポケットパークを配置



3 人にやさしく、市民に開かれた庁舎

- まちとのにぎわいの相乗効果を生む市民利用スペース
「市民広場」／「多目的ホール」
「(仮称)深谷コリドー」

(仮称)深谷コリドーには花壇を配置
駐車場を含め敷地全体を有効活用

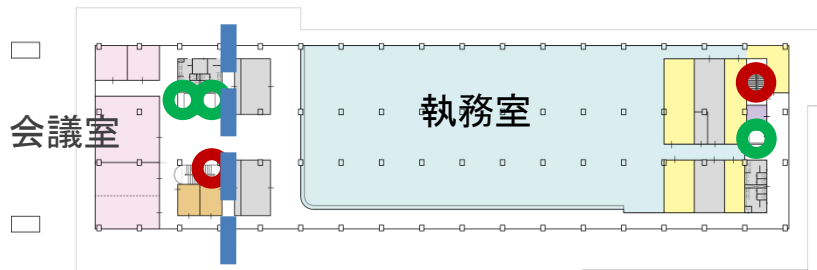


3 人にやさしく、市民に開かれた庁舎

配置・動線計画

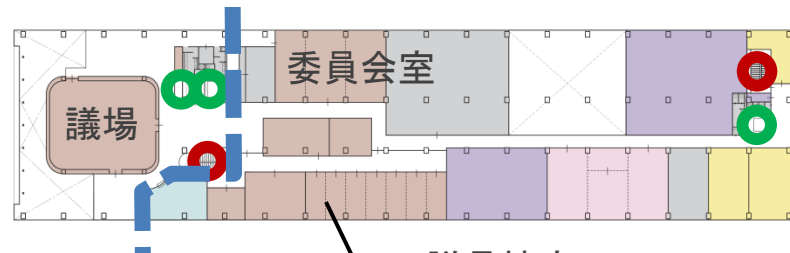
■低層4層で分かりやすいフロア構成

分かりやすい上下動線 明確なセキュリティ区画



自治会、ボランティア活動支援
都市整備、産業振興部門

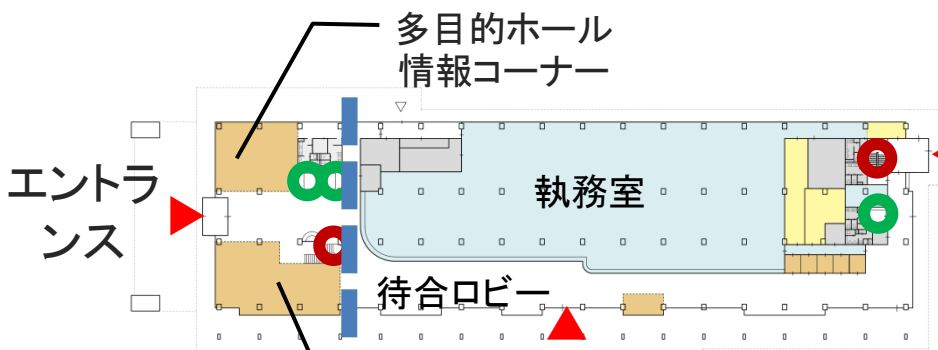
2F



議員控室

4F

議会部門、電気・設備・機械、倉庫等



多目的ホール
情報コーナー

エント
ランス

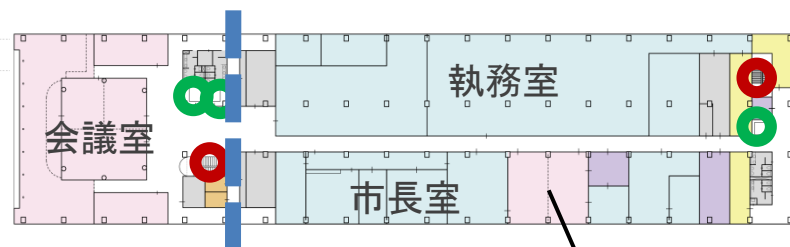
待合ロビー

執務室

多目的ホール

1F

各種申請、証明発行、福祉・子育て部門



執務室

3F

市長諸室、災害対策本部
企画、総務部門

災害対策本部

エレベーター

セキュリティライン

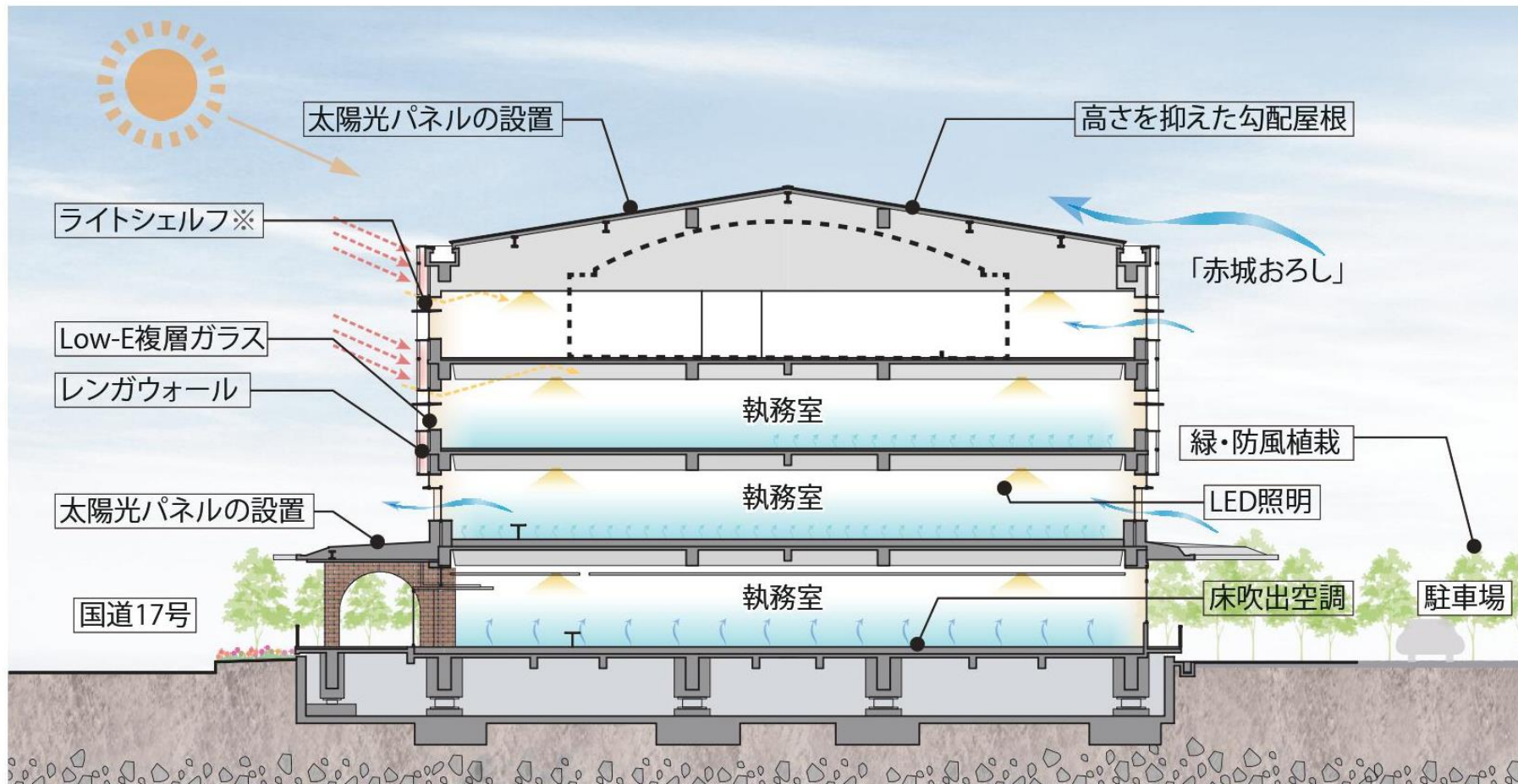
階段



4 自然環境にやさしい庁舎

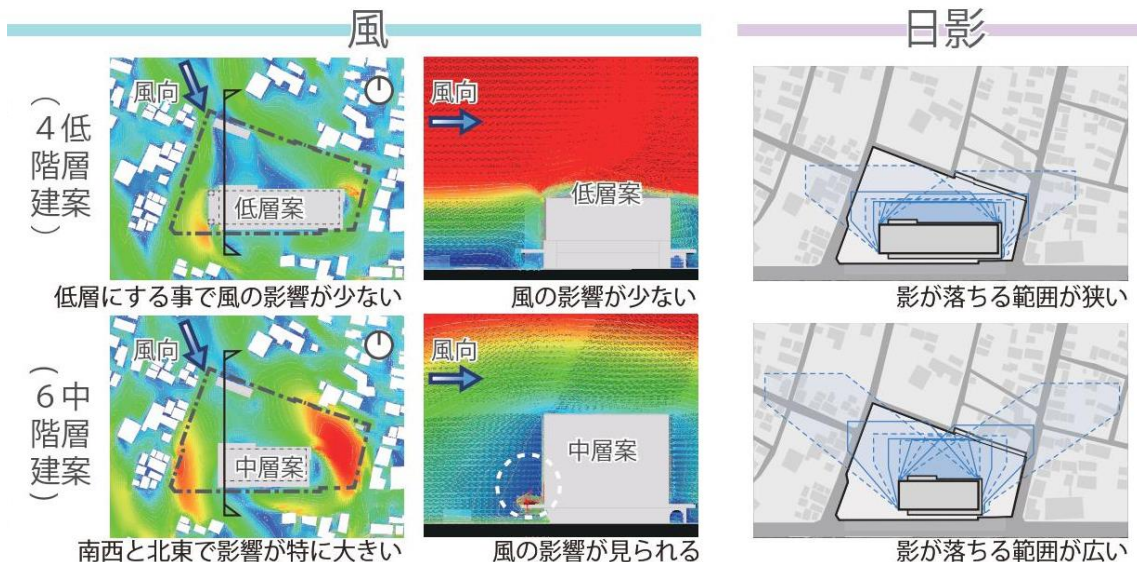
■ 深谷市の自然環境と庁舎の形状を活かし、環境負荷を低減
風土に根ざした外壁「レンガウォール」

豊かな日射を活かし、約150KWの太陽光パネルを設置
全館LED照明、雨水利用

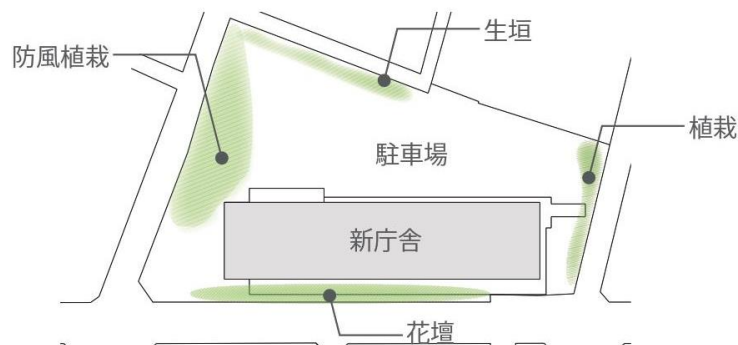


■ 周辺環境との調和

低層化により日影やビル風を低減

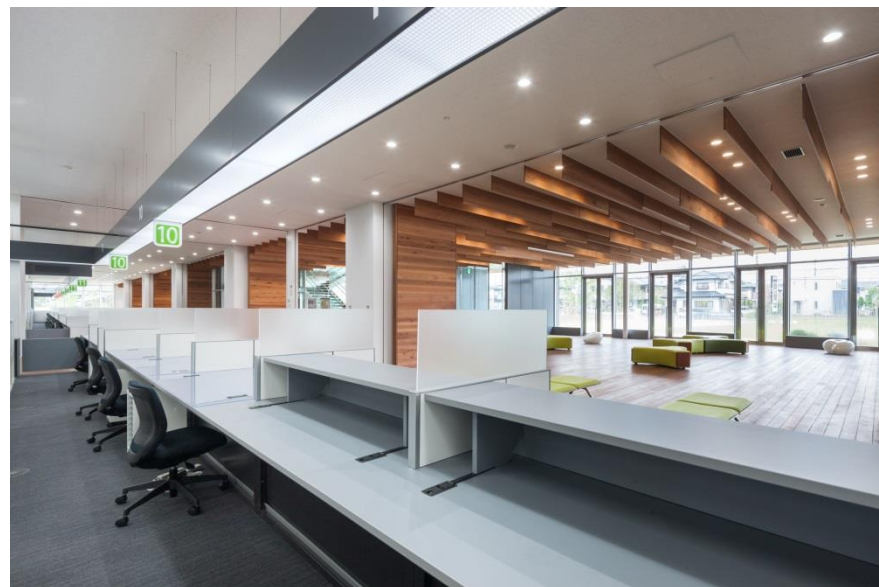


■ 防風対策を考慮した緑化計画



■ 将来の組織変更等に柔軟に対応できる執務空間

ワンフロアが広くオープンな執務空間



■ 合理的で実効性のある建物管理運営手法の導入

中央管理システム「BEMS」による建物管理

■ 経済性に優れた設備機器の採用

空調方式は電気・ガスを併用し、個別と中央熱源の最良な組み合わせ

新庁舎建設基本設計（案）に関する パブリックコメント募集中

■募集期間

平成29年2月1日（水）～平成29年3月2日（木）

■閲覧場所

市役所本庁舎市政情報コーナー、総合支所、公民館、市HP

問い合わせ先

深谷市総務部 新庁舎建設推進室

☎048-501-2610(直通)